

介護職の理解促進・魅力発信事業に係る
模擬授業の実施について（依頼）

令和5年1月13日（金）

千葉県健康福祉部健康福祉指導課
福祉人材確保対策室

水野 工

1 事業の趣旨及び目的

県の将来を担う若者たちが介護職を目指すに当たっては、保護者や教員が持つ介護職に対するマイナスイメージを改善し、介護職について正しく理解していただくことが重要であると考えております。

そのため、介護現場等の映像を制作し、イベントで放映するとともに、それらを基に学校教材を作成して活用する「介護職の理解促進・魅力発信事業」を実施しております。

イベント開催やNHKにおける番組放送を通じて、広く社会に介護職の魅力を発信することに加え、教材を用いた授業等により、保護者層に介護職の給与等の処遇やキャリアプランなどの理解促進を図ることを目的としております。

2 依頼事項

本事業の一環として、小・中・高等学校の児童・生徒やその保護者向けに介護職の理解を促すための教材を本年度作成することとしております。

来年度はモデル校として推薦のあった小・中学校の児童・生徒に対し、完成した教材を用いて模擬授業を実施し、令和6年度以降の本格導入につなげていきたいと考えております。

ついては、介護の未来案内人の皆様におかれましては、模擬授業の講師をお願いしたく存じます。

3 教材内容

令和4年9月10日（土）に開催した介護フォーラムの内容をもとにして、発達段階に応じた各30分程度の動画と小冊子、解説書を作成予定。

動画の視聴後、身の回りの高齢者のことや、介護職の必要性や重要性、将来のキャリアプラン等についてディスカッションしていただくことを想定。

4 今後の展開

令和5年度はモデル校（小・中各5校、松戸向陽高等学校）において模擬授業を実施し、反省点・改善点を反映した上で、令和6年度以降に県内全校へ展開予定。

介護教材イメージ

①小学生向け（家庭科、生活、総合学習、道徳の授業で実施）

- ・（導入）「歳を取る」「老いる」ということ＝今まで自力でできていたことができなくなる。
自分や家族もいつかは歳を取る。老化・介護は自分事である。
 - （映像）介護フォーラム登壇者の体験談
 - ・そういった高齢者を支える仕事がある。「介護」という概念を知ってもらう。
 - （映像）食事、入浴の介助、車いすでの散歩の様子、被介護者の声等、介護の場面を紹介。
 - ・高齢者への介助・支援・親切について考える
 - （演習）身の回りや地域の高齢者に対してできること、自分が高齢者になったらしてもらいたいことを、周りの友達と話す。
- 老いについての理解、高齢者への尊敬の念、お年寄りに優しくしたいという気持ちを育む。

②中学生向け（家庭科、キャリア教育の授業で実施）

- ・高齢化社会について考える
 - （教材）高齢化の進行状況、介護人材の不足状況
 - ・介護職ってどんな仕事？
 - （演習）どんな介助・支援が行われているか考える
 - （映像・教材）利用者からみた介護施設の1日、被介護者の感謝の言葉
 - ・介護の必要性・重要性を考える
 - （映像）登壇者の説く「介護の力」、高校生たちが福祉を志したきっかけ・体験談
 - （演習）介護の必要性・重要性について話し合う。
- 介護職は需要があり、人を幸せにすることができる職業であることを理解してもらう。

③高校生向け（家庭科、キャリア教育の授業で実施）

- ・介護職ってどんな仕事？
 - （映像・教材）利用者からみた介護施設の1日（おさらい）
 - ・介護職の処遇の理解促進
 - （演習）介護職のイメージについて話し合う
 - （映像・教材）登壇者による解説、給与やキャリアアップ、働く人の声（想い、やりがい、給与・生活水準）、介護職の将来（介護職は斜陽ではなく安定成長産業）
 - ・介護現場の現状の理解促進
 - （映像）IT・技術、器具の紹介、介護職の昔と今の比較
 - （演習）授業の前と後で、介護職についてのイメージがどう変わったか、クラス内で話し合い、ワークシートに記入
 - （教材）キャリアパス、キャリアアップについて記載
- 現在の介護職について正しく理解してもらい、現実的な職業選択の1候補として、介護職も悪くないと思ってもらう。

授業の流れ（イメージ）

映像教材とともに、解説書（教科書ガイド）も作成しておりますので、ガイドに沿って進行していただく形になります。

1. 導入

○これからなぜ介護職についての動画を見るのかの説明

小学校…人はいつか歳を取る。老化・介護は自分事である。

中学校…高齢化の進行、介護職の不足。介護職は必要かつ重要。

2. 動画視聴

導入をふまえて映像教材を視聴。

※キャプチャーごとに分かれています。それぞれ5～10分程度。

3. 体験談

動画に補足する形で、介護従事者としての体験談を話す。

4. 演習

動画視聴や介護従事者の生の声をうけて考えたことを各グループで話し合ってもらおう。

※キャプチャーによっては3と4が前後することもあります（先に考えてから動画視聴）

※3と4を繰り返します。

5. 発表

何人かに発表してもらおう。

6. まとめ

各段階の学習到達目標につながるように授業を締める。

7. 反省（授業後）

授業を進行する中で生じた問題点や改善点を教えていただきますと幸いです。